



様々な植物の伸長を 長期間抑制！ 雑草の刈込や 樹木の剪定軽減に

植物成長調整剤

グリーンフィールド[®] 粒剤



道路



公園・堤とう等



鉄道

- 様々な植物に対して、休眠期から生育初期に処理することにより、長期間の伸長を抑制します
- 特に種子発生の雑草に対して強い伸長抑制を示すため、雑草の侵入や繁殖も抑えることができます
- 継続して使用することで、抑制効果が高まります
- 雑草を枯らさず草丈の伸長を抑制するため裸地にならず、草原風の景観を維持できます
- 茎葉部のみ抑制し、根部には影響がないため、のり面の保護にも利用できます
- 樹木の新梢伸長を抑制し、勢定軽減効果があります
- ドリフトしにくく、手軽に散布できる粒剤タイプです

®登録商標



株式会社 二チノ一緑化

green technology

●成分・性状

種類名：フルルプリミドール粒剤
有効成分：フルルプリミドール … 1.0%
性状：淡褐色粒状 1~2.5mm

●安全性

※毒劇物に相当しないものを指している通称

〔毒性区分〕 普通物※	急性経口毒性(LD ₅₀) (原体)	急性経皮毒性(LD ₅₀) (原体)
	ラット♂ 1,413mg/kg ♀ 1,875mg/kg	ラット♂♀ > 5,000mg/kg
〔魚毒性〕	コイ	ミジンコ
	TLm (48hr) 1,087ppm	TLm (3hr) 11,800ppm

●規格

5kg x 2袋

使用方法

作物名	適用場所	適用雑草名	使用目的	使用時期	㎡当たり使用量	総使用回数※	使用方法
樹木等	公園、庭園、堤とう、駐車場、道路、運動場、宅地、のり面等	一年生雑草 多年生広葉雑草	雑草の伸長抑制	雑草発生前 ~発生初期	20~40g	3回以内	植栽地を除く樹木等の周辺地に全面均一散布
作物名		使用目的		使用時期	㎡当たり使用量	総使用回数※	使用方法
樹木類		新梢伸長抑制による 剪定軽減		萌芽2週間前又は 新梢伸長開始2週間前	10~20g	1回	全面土壌混和
日本芝		草丈の伸長抑制		生育初期~生育盛期	10~20g	6回以内 (粒剤は2回以内)	全面均一散布
西洋芝(パミュダグラス、ベントグラス、ブルーグラス)					5~10g	2回以内	

※印は本剤およびそれぞれの有効成分を含む農薬の総使用回数を示す。

●作用機作…………… グリーンフィールドの有効成分であるフルルプリミドールは主に根部より吸収され、草丈伸長をつかさどる植物ホルモン(ジベレリン)の生合成を阻害し、植物の草丈の伸長を抑えます。植物により感受性が異なります。

●抑草スペクトラム

キク科	ヨモギ、ヒメムカシヨモギ、ハルジオン、ヒメジョオン、オオアレチノギク、アメリカセンダングサ、ハキダメギク、ハハコグサ、オオキンケイギク	イネ科	メヒシバ、エノコログサ、イヌビエ、スズメノカタビラ	ツユクサ科	ツユクサ、ムラサキツユクサ	オオバコ科	オオバコ
		マメ科	シロツメクサ、ヤハズソウ、ヤマハギ、ツルマメ	ナデシコ科	オランダミナグサ、ツメクサ、ノミノフスマ	ヒルガオ科	コヒルガオ
		タデ科	イヌタデ、オオイヌタデ、イシミカフ、ヒメスイバ、ギシギシ	サクラソウ科	コナスビ	カタバミ科	カタバミ
				シソ科	シソ、ナギナタコウジュ	イグサ科	クサイ
			ゴマノハグサ科	タチイヌノフグリ、オオイヌノフグリ	ヒユ科	イヌビユ、アオビユ	

⚠ 効果・薬害等の注意

- 極端な乾燥条件下での使用はさけてください。また本剤は土壌処理剤で、効果発現のため薬剤が作物及び雑草の根域に達する必要がありますので、散布後にかん水することをおすすめします。かん水設備のない所では降雨前の散布をおすすめします。但し、降雨後の再散布は行わないでください。
- 本剤を芝に使用する場合は次の注意を守ってください。
 - 1) 本剤の使用により、葉の色や形が変化する等の症状がみられたり、不均一な草丈抑制をもたらしたりする場合がありますので、まきむらのないよう均一に散布してください。特に極端な傾斜地での使用には十分注意してください。
 - 2) 散布後効果発現までに日数を要するので、刈込直後に処理するか、効果発現まで通常どおりの刈込管理を行ってください。
 - 3) ターフ形成前の芝生には使用しないでください。
- 新梢伸長抑制による剪定軽減の目的で使用する場合は次の注意を守ってください。
 - 1) 極端に樹勢や生育が旺盛な場合には、効果が不十分な場合がありますので注意してください。
 - 2) 樹勢や生育が劣っている場合や生理障害が出やすい条件下では使用しないでください。
 - 3) 幼木では使用しないでください。
 - 4) 伸長抑制効果は、一般に使用量が多いほど効果が高くなる傾向があるので、希望する抑制程度に合わせて所定の範囲内で使用量を決めてください。
 - 5) 施用により翌年まで効果が持続することがあるので、次年度の処理に際しては、その反応に応じて薬量を適宜調整してください。

- 6) 連年施用により枝および葉の生育や開花等に影響を及ぼすおそれがあるので注意してください。
- 7) 花木類では花蕾や枝葉の觀賞性に影響することがあるので、本剤の使用は留意してください。
- 8) 下記以外の樹木類の属する作物に対して本剤を初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けるか、自ら事前に薬効及び薬害を確認した上で使用してください。
 - かいづかいぶき、しゃくなげ、ペニカナメチ、つげ類、つつじ類
- 本剤は対象外の周辺植物にも影響を及ぼすので、かからないように注意してください。
- 本剤は他の作物を植え付ける予定のある土地では使用しないでください。また使用後の散布器具類は十分洗浄してください。
- 公園、堤とう等で使用する場合は特に以下のことに注意してください。
 - 1) 水源池、養殖池などに本剤が飛散・流入しないよう十分注意してください。
 - 2) 散布器具・容器の洗浄水は河川などに流さず、空袋などは環境に影響を与えないように適切に処理してください。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤をはじめ使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特にはじめ使用する場合には予備試験を行うか、または病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。

⚠ 安全使用上の注意

- 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 本剤は皮膚に対して刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とすしてください。
- 使用の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。散布後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをしてください。
- 公園、堤とう等で使用する場合は、使用中及び使用後(少なくとも使用当日)に小児や使用に関係ない者が使用区域に立ち入らないよう縄囲いや立札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。
- 使用残りの薬剤は必ず安全場所に保管してください。



●使用前にラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。 ●使用後の空袋は圃場などに放置せず、廃棄物処理業者に委託する等により適切に処理してください。

取扱店



株式会社 二チノ一緑化

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町14-4 岡谷ビルディング6F
TEL (03) 3808-2281 FAX (03) 3808-2360
大阪営業所 TEL (072) 727-8015
ホームページアドレス <http://www.nichino-ryokka.co.jp>